





年間授業計画

工芸 高等学校 令和8年度（1学年用）教科

アートクラフト 科目 実習A

教科：アートクラフト

科目：実習A

単位数：3 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組

教科担当者：（ A組：垣内 ）

（ A組：氏家 ） （ A組：宇高 ）

使用教科書：（ デザインの色彩 ）

教科 アートクラフト

の目標：

【知識及び技能】

彫金・鍛金・鑄造の金属工芸技法の基礎を理解し、実材実習での制作を通して造形美を探究する

【思考力、判断力、表現力等】

各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につける

【学びに向かう力、人間性等】

素材を大切に扱う姿勢と自分らしい造形力を養い、世に有意義な作品制作や仕事ができる

科目 実習A

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
金属工芸の歴史と材料及び美術工芸史の知識を深める	実実習での加工技術を前提にした思考力を身につける	歴史的な名品の造形美と貴重な金属材料での制作の意義を理解する

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	・絵画 透明水彩で適正な構図や着彩をする。 ・デッサン 立体を正確に把握し、対象を丁寧に描写する。 ・デザイン 色彩の特性を理解し、ポスターカラーや色鉛筆などを丁寧に使用して、イメージどおりに表現する。	・絵画 透明水彩絵の具の扱い方と構図、用紙について理解する。 ・デッサン デッサンをする意味と構図、質感、立体感の表現方法を理解する。 ・デザイン 基本的な筆遣いと絵の具の溶き方を理解する。	【絵画】適正な構図や着彩をすることが出来たか。 【デッサン】立体を正確に把握し、対象を丁寧に描写することが出来たか。 【デザイン】ポスターカラーや色鉛筆などを丁寧に使用して、イメージどおりの作品が出来たか。	○	○	○	13
	・絵画 透明水彩絵の具での静物描写。 ・デッサン 人物クロッキー、幾何形体の質感描写。 ・デザイン パターンデザイン。	【絵画】適正な構図や着彩をすることが出来たか。 【デッサン】立体を正確に把握し、対象を丁寧に描写することが出来たか。 【デザイン】ポスターカラーや色鉛筆などを丁寧に使用して、イメージどおりの作品が出来たか。	○	○	○	13	
	・絵画 透明水彩絵の具での人物描写。 ・デッサン 人物クロッキー、水張り、静物デッサン。 ・デザイン 装飾デザイン。・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【絵画】適正な構図や着彩をすることが出来たか。 【デッサン】立体を正確に把握し、対象を丁寧に描写することが出来たか。 【デザイン】ポスターカラーや色鉛筆などを丁寧に使用して、イメージどおりの作品が出来たか。	○	○	○	13	
2 学期	・絵画 透明水彩で適正な構図や着彩をする。 ・デッサン 立体を正確に把握し、対象を丁寧に描写する。 ・デザイン 色彩の特性を理解し、ポスターカラーや色鉛筆などを丁寧に使用して、イメージどおりに表現する。	・絵画 透明水彩絵の具の扱い方と構図、用紙について理解する。 ・デッサン デッサンをする意味と構図、質感、立体感の表現方法を理解する。 ・デザイン 基本的な筆遣いと絵の具の溶き方を理解する。	【絵画】適正な構図や着彩をすることが出来たか。 【デッサン】立体を正確に把握し、対象を丁寧に描写することが出来たか。 【デザイン】ポスターカラーや色鉛筆などを丁寧に使用して、イメージどおりの作品が出来たか。	○	○	○	13
	・絵画 透明水彩絵の具での静物描写。 ・デッサン 人物クロッキー、幾何形体の質感描写。 ・デザイン パターンデザイン。	【絵画】適正な構図や着彩をすることが出来たか。 【デッサン】立体を正確に把握し、対象を丁寧に描写することが出来たか。 【デザイン】ポスターカラーや色鉛筆などを丁寧に使用して、イメージどおりの作品が出来たか。	○	○	○	13	
	・絵画 透明水彩絵の具での人物描写。 ・デッサン 人物クロッキー、水張り、静物デッサン。 ・デザイン 装飾デザイン。・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【絵画】適正な構図や着彩をすることが出来たか。 【デッサン】立体を正確に把握し、対象を丁寧に描写することが出来たか。 【デザイン】ポスターカラーや色鉛筆などを丁寧に使用して、イメージどおりの作品が出来たか。	○	○	○	13	
3 学期	・絵画 透明水彩で適正な構図や着彩をする。 ・デッサン 立体を正確に把握し、対象を丁寧に描写する。 ・デザイン 色彩の特性を理解し、ポスターカラーや色鉛筆などを丁寧に使用して、イメージどおりに表現する。	・絵画 透明水彩絵の具の扱い方と構図、用紙について理解する。 ・デッサン デッサンをする意味と構図、質感、立体感の表現方法を理解する。 ・デザイン 基本的な筆遣いと絵の具の溶き方を理解する。	【絵画】適正な構図や着彩をすることが出来たか。 【デッサン】立体を正確に把握し、対象を丁寧に描写することが出来たか。 【デザイン】ポスターカラーや色鉛筆などを丁寧に使用して、イメージどおりの作品が出来たか。	○	○	○	13
	・絵画 透明水彩絵の具での静物描写。 ・デッサン 人物クロッキー、幾何形体の質感描写。 ・デザイン パターンデザイン。	【絵画】適正な構図や着彩をすることが出来たか。 【デッサン】立体を正確に把握し、対象を丁寧に描写することが出来たか。 【デザイン】ポスターカラーや色鉛筆などを丁寧に使用して、イメージどおりの作品が出来たか。	○	○	○	13	
	・絵画 透明水彩絵の具での人物描写。 ・デッサン 人物クロッキー、水張り、静物デッサン。 ・デザイン 装飾デザイン。・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【絵画】適正な構図や着彩をすることが出来たか。 【デッサン】立体を正確に把握し、対象を丁寧に描写することが出来たか。 【デザイン】ポスターカラーや色鉛筆などを丁寧に使用して、イメージどおりの作品が出来たか。	○	○	○	13	
						合計	117



年間授業計画

工芸 高等学校 令和8年度（2学年用） 教科

アートクラフト 科目 工業情報数理

教科：アートクラフト

科目：工業情報数理

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組

教科担当者：（ A組：垣内 ） （ A組：三宅 ）

使用教科書：（ 工業情報数理 実教出版 ）

教科 アートクラフト

の目標：

- 【知識及び技能】 彫金・鍛金・鑄造の金属工芸技法の基礎を理解し、実材実習での制作を通してさらに造形美を探究する
- 【思考力、判断力、表現力等】 各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につけ実践する
- 【学びに向かう力、人間性等】 素材を大切に扱う姿勢とより自分らしい造形力を養い、世に有意義な作品制作や仕事ができる

科目 工業情報数理

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
OSの特色と使い方の基礎を理解し、使用することができる。 ワープロ、表計算、プレゼンテーション用ソフトウェア、画像処理用ソフトウェア、プログラムについて理解し、活用することができる。	各種ソフトウェアの適正を考え、表現の試行錯誤をすることができる。 学んだ知識を基にして、応用できる力を身につけ実践することができる。	課題や作業を通して、ネット素材を価値あるものとして扱う姿勢をとり、より自分らしい発想力を養うことによって、主体的で個人的かつ効果的な学びを得ることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 単元 WindowsとMac 【知識及び技能】 Windows・Macの特色と使い方の基礎を理解し、使用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 各種ソフトウェアの適正を考え、表現の試行錯誤をし、応用出来る力を身につけ実践する。 【学びに向かう力、人間性等】 ネット素材について、著作権を理解し、有意義で個性ある作品制作ができる。	・指導事項 ログインアカウントやパスワードの重要性、個人データの扱いと著作権について。	【知識・技能】 各授業課題を使い、基礎的知識と基本となる技能を学ぶ。 【思考・判断・表現】 演習を通して試行錯誤をし、判断したことを表現する力につなげることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の機会を通じて、個性ある作品制作ができる。より効果的かつ多面的に自己の特徴を発見し、自主的な学びをおこなうことができる。	○	○	○	26
	定期考査なし	定期考査なし	定期考査なし				0
2 学期	A 単元 HP作成 【知識及び技能】 HP作成における基礎的な知識を理解し、実践することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 プログラムの適正を考え、表現の試行錯誤をし、応用出来る力を身につけ実践する。 【学びに向かう力、人間性等】 ネット素材について、著作権を理解し、有意義で個性ある作品制作ができる。	・指導事項 個人データの扱いと著作権について。	【知識・技能】 各授業課題を使い、基礎的知識と基本となる技能を学ぶ。 【思考・判断・表現】 演習を通して試行錯誤をし、判断したことを表現する力につなげることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題を通じて、個性ある作品制作ができる。より効果的かつ多面的に自己の特徴を発見し、自主的な学びをおこなうことができる。	○	○	○	26
	定期考査なし	定期考査なし	定期考査なし				0
3 学期	A 単元 プレゼンテーション発表 【知識及び技能】 プレゼンテーション用ソフトウェアの特色と使い方の応用を理解し、使用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 より効果的なプレゼンテーションをするために、表現の試行錯誤をし、応用出来る力を身につけ実践する。 【学びに向かう力、人間性等】 有意義で個性ある作品制作ができる。	・指導事項 ログインアカウントやパスワードの重要性、個人データの扱いと著作権について。	【知識・技能】 各授業課題を使い、基礎的知識と応用となる技能を学ぶ。 【思考・判断・表現】 演習を通して試行錯誤をし、判断したことを表現する力につなげることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題や発表の機会を通じて、個性ある作品制作ができる。より効果的かつ多面的に自己の特徴を発見し、自主的な発表をおこなうことができる。				26
	定期考査なし	定期考査なし	定期考査なし				合計 78





年間授業計画

工芸 高等学校 令和8年度（2学年用） 教科

アートクラフト 科目 デッサンⅠ

教科：アートクラフト 科目：デッサンⅠ

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組

教科担当者：（A組：大野 ）

使用教科書：（なし）

教科 アートクラフト の目標：

【知識及び技能】彫金・鍛金・鑄造の金属工芸技法の基礎を理解し、実実習での制作を通してさらに造形美を探究する

【思考力、判断力、表現力等】各種材料及加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につけ実践する

【学びに向かう力、人間性等】素材を大切に扱う姿勢とより自分らしい造形力を養い、世に有意義な作品制作や仕事ができる

科目 デッサンⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
画材の扱いに慣れ、人体や物の構造を意識する	短時間でモチーフの印象を踏まえて立体表現が出来る	形に添った表現を丁寧に積み重ねて対象物を理解する

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	木炭デッサンの描き方を理解し対象物を立体表現する 石膏像（胸像）	木炭紙と木炭の芯抜きの基本 立体表現の為の稜線の描き方	【知識・技能】画材の扱いに慣れ、人体や物の構造を意識する  【思考・判断・表現】短時間でモチーフの印象を踏まえて立体表現が出来る  【主体的に学習に取り組む態度】形に添った表現を丁寧に積み重ねて対象物を理解する	○	○	○	12
	石膏像（胸像）	立体表現の為の稜線の描き方		○	○	○	12
2 学 期	石膏像（胸像）	立体表現の為の稜線の描き方	【知識・技能】画材の扱いに慣れ、人体や物の構造を意識する  【思考・判断・表現】短時間でモチーフの印象を踏まえて立体表現が出来る  【主体的に学習に取り組む態度】形に添った表現を丁寧に積み重ねて対象物を理解する	○	○	○	14
	ベルヴェデーレ、ミロのヴィーナス（石膏全身像）	立体表現の為の稜線の描き方		○	○	○	16
3 学 期	ベルヴェデーレ、ミロのヴィーナス（石膏全身像）	立体表現の為の稜線の描き方	【知識・技能】画材の扱いに慣れ、人体や物の構造を意識する  【思考・判断・表現】短時間でモチーフの印象を踏まえて立体表現が出来る  【主体的に学習に取り組む態度】形に添った表現を丁寧に積み重ねて対象物を理解する	○	○	○	12
	ベルヴェデーレ、ミロのヴィーナス（石膏全身像）	立体表現の為の稜線の描き方		○	○	○	12
							合計
							78

年間授業計画

工芸 高等学校 令和8年度（2学年用） 教科

アートクラフト 科目 造形

教科：アートクラフト

科目：造形

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組

教科担当者：（A組：三宅 ）

使用教科書：（なし ）

教科 アートクラフト の目標：

- 【知識及び技能】 彫金・鍛金・鑄造の金属工芸技法の基礎を理解し、実材実習での制作を通してさらに造形美を探究する
- 【思考力、判断力、表現力等】 各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につけ実践する
- 【学びに向かう力、人間性等】 素材を大切に扱う姿勢とより自分らしい造形力を養い、世に有意義な作品制作や仕事ができる

科目 造形 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
粘土や紙などの素材の扱いに慣れると共に、美術史に裏付けされた人体や物の構造を意識しながら、造形することができる。	モチーフの印象を理解し、立体表現をするにあたっての方法を選択し、表現することができる。	対象物を表現するために何が必要かを考え、丁寧に工程を積み重ねることができる。計画的に課題制作を行うことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A フランソワボンボンから学ぶ造形【張り子】 【知識及び技能】 心棒や粘土、紙などの素材の扱いに慣れると共に、美術史に裏付けされた動物の構造を意識しながら、造形することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 モチーフの印象を理解し、立体表現をするにあたっての方法を選択し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 対象物を表現するために何が必要かを考え、丁寧に工程を積み重ねることができる。計画的に課題制作を行うことができる。	造形に関する美術史。 しっかりとした心棒のつくりかたについて。 油粘土のとり扱いについて	【知識・技能】 心棒や粘土、紙などの素材の扱いに慣れると共に、美術史に裏付けされた動物の構造を意識しながら、造形することができるか。 【思考・判断・表現】 モチーフの印象を理解し、立体表現をするにあたっての方法を選択し、表現することができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 対象物を表現するために何が必要かを考え、丁寧に工程を積み重ねることができるか。計画的に課題制作を行うことができるか。	○	○	○	20
	B 塑像【種子の土鈴】 【知識及び技能】 粘土の素材の扱いや特性に慣れると共に、美術史に裏付けされた植物の構造を意識しながら、造形することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 モチーフの印象を理解し、立体表現をするにあたっての方法を選択し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 対象物を表現するために何が必要かを考え、丁寧に工程を積み重ねることができる。計画的に課題制作を行うことができる。	造形に関する美術史。 焼成粘土のとり扱いについて	【知識・技能】 粘土の素材の扱いや特性に慣れると共に、美術史に裏付けされた植物の構造を意識しながら、造形することができるか。 【思考・判断・表現】 モチーフの印象を理解し、立体表現をするにあたっての方法を選択し、表現することができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 対象物を表現するために何が必要かを考え、丁寧に工程を積み重ねることができるか。計画的に課題制作を行うことができるか。	○	○	○	6
2 学 期	A 塑像【仏像の手】 【知識及び技能】 粘土の素材の扱いや特性に慣れると共に、美術史に裏付けされた人体の構造を意識しながら、造形することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 モチーフの印象を理解し、立体表現をするにあたっての方法を選択し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 対象物を表現するために何が必要かを考え、丁寧に工程を積み重ねることができる。計画的に課題制作を行うことができる。	造形に関する日本における美術史。 焼成粘土のとり扱いについて	【知識・技能】 粘土の素材の扱いや特性に慣れると共に、美術史に裏付けされた人体の構造を意識しながら、造形することができるか。 【思考・判断・表現】 モチーフの印象を理解し、立体表現をするにあたっての方法を選択し、表現することができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 対象物を表現するために何が必要かを考え、丁寧に工程を積み重ねることができるか。計画的に課題制作を行うことができるか。	○	○	○	18
	B クリストから学ぶ造形の側面 【知識及び技能】 美術作品について学ぶと共に、現代アートの造形の歴史を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 モチーフの象徴性を理解し、立体表現をするにあたっての方法を選択し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 対象物を表現するために何が必要かを考え、造形の持つ意味性を考えることができる。計画的に課題制作を行うことができる。	現代アートに関する造形史。	【知識・技能】 美術作品について学ぶと共に、現代アートの造形の歴史を学ぶことができるか。 【思考・判断・表現】 モチーフの象徴性を理解し、立体表現をするにあたっての方法を選択し、表現することができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 対象物を表現するために何が必要かを考え、造形の持つ意味性を考えることができるか。計画的に課題制作を行うことができるか。	○	○	○	8

3 学期	<p>A カメオ【額】</p> <p>【知識及び技能】 素材の扱いに慣れると共に、象徴に裏付けされた装飾彫刻を造形することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 モチーフの印象を理解し、立体表現をするにあたっての方法を選択し、表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 対象物を表現するために何が必要かを考え、丁寧に工程を積み重ねることができる。計画的に課題制作を行うことができる。</p>	<p>象徴彫刻に関する美術史。</p> <p>コンピューターのとり扱いについて</p>	<p>【知識・技能】 素材の扱いに慣れると共に、象徴に裏付けされた装飾彫刻を造形することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 モチーフの印象を理解し、立体表現をするにあたっての方法を選択し、表現することができるか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 対象物を表現するために何が必要かを考え、丁寧に工程を積み重ねることができるか。計画的に課題制作を行うことができるか。</p>	○	○	○	12	
	<p>B カメオ【自刻像】</p> <p>【知識及び技能】 粘土の素材の扱いや特性に慣れると共に、美術史に裏付けされた人体の構造を意識しながら、造形することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 モチーフの印象を理解し、立体表現をするにあたっての方法を選択し、表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 対象物を表現するために何が必要かを考え、丁寧に工程を積み重ねることができる。計画的に課題制作を行うことができる。</p>	<p>象徴彫刻に関する美術史。</p> <p>油粘土と型取り、石膏のとり扱いについて</p>	<p>【知識・技能】 粘土の素材の扱いや特性に慣れると共に、美術史に裏付けされた人体の構造を意識しながら、造形することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 モチーフの印象を理解し、立体表現をするにあたっての方法を選択し、表現することができるか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 対象物を表現するために何が必要かを考え、丁寧に工程を積み重ねることができるか。計画的に課題制作を行うことができるか。</p>	○	○	○	14	
							合計	78



年間授業計画

工芸 高等学校 令和8年度（2学年用） 教科

アートクラフト 科目 実習B

教科：アートクラフト

科目：実習B

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組

教科担当者：（ A組：廣川 ） （ A組：宇高 ） （ A組：氏家 ）

使用教科書：（ なし ）

教科 アートクラフト

の目標：

【知識及び技能】 彫金・鍛金・鑄造の金属工芸技法の基礎を理解し、実材実習での制作を通してさらに造形美を探究する

【思考力、判断力、表現力等】 各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につけ実践する

【学びに向かう力、人間性等】 素材を大切に扱う姿勢とより自分らしい造形力を養い、世に有意義な作品制作や仕事ができる

科目 実習B

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
石留めとゴム型を丁寧に制作できる。正確な図形転写と色彩を再現できる。文様の描き方を理解しイメージ通りの作品ができる。	ジュエリーの石留めとゴム型制作の技法を理解する。絵画の色彩と構成を理解する。装飾的な構成を学び、丁寧な制作を行う。	貴重な金属材料・宝石での制作の意義、歴史的な名品の造形美、粘り強く丁寧に制作することの大切さを理解する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	ワックスで原型を制作して、鑄造後仕上げる。図形を転写し、絵の具で色彩を再現させる。細密ペンを使用して、平面構成を行う。	石留め・絵画模写・デザイン	【知識・技能】 石留めとゴム型を丁寧に制作できる。 【思考・判断・表現】 正確な図形転写と色彩を再現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 文様の描き方を理解しイメージ通りの作品ができる。	○	○	○	8
				○	○	○	9
				○	○	○	9
2 学期	ワックスで原型を制作して、鑄造後仕上げる。図形を転写し、絵の具で色彩を再現させる。細密ペンを使用して、平面構成を行う。	石留め・絵画模写・デザイン	【知識・技能】 石留めとゴム型を丁寧に制作できる。 【思考・判断・表現】 正確な図形転写と色彩を再現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 文様の描き方を理解しイメージ通りの作品ができる。	○	○	○	9
				○	○	○	9
				○	○	○	9
3 学期	ワックスで原型を制作して、鑄造後仕上げる。図形を転写し、絵の具で色彩を再現させる。細密ペンを使用して、平面構成を行う。	石留め・絵画模写・デザイン	【知識・技能】 石留めとゴム型を丁寧に制作できる。 【思考・判断・表現】 正確な図形転写と色彩を再現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 文様の描き方を理解しイメージ通りの作品ができる。	○	○	○	8
				○	○	○	9
				○	○	○	8
						合計	
						78	

年間授業計画

工芸 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科

アートクラフト 科目 鍛金

教科：アートクラフト

科目：鍛金

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組

教科担当者：（A 組： 垣内 ）

使用教科書：（ なし ）

教科 アートクラフト

の目標：

【知識及び技能】 金属工芸技法を理解し、実材実習での制作を通してさらに造形美を探究する

【思考力、判断力、表現力等】 各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につけ実践する

【学びに向かう力、人間性等】 素材を大切に扱う姿勢と個性的な造形力を養い、世に有意義な制作や活動ができる能力を身につける

科目 鍛金

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
単純な形の成形をイメージとおりに行う。	各種材料と加工方法の適正を考え、個性的な意匠を試行錯誤出来る力を身につける	粘り強く丁寧に制作することの大切さを理解する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	本体の地金取り・焼きなまし・酸洗い・絞り・均しの指導をする。	鍛金 銅製片手鍋の製作	【知識・技能】単純な形の成形をイメージとおりにできたか 【思考・判断・表現】材料と加工方法の適正を考え試行錯誤し、個性的な制作ができたか 【主体的に学習に取り組む態度】効率の良い制作手順を意識して、計画的に粘り強く丁寧に制作することができたか	○	○	○	8
	焼きなまし・酸洗い・絞り・均しの指導をする。	鍛金 銅製片手鍋の製作		○	○	○	10
	焼きなまし・酸洗い・絞り・均しの指導をする。	鍛金 銅製片手鍋の製作		○	○	○	10
	取手の焼きなまし・酸洗い・絞り・均しの指導をする。	鍛金 銅製片手鍋の製作		○	○	○	8
2 学期	本体の地金取り・焼きなまし・酸洗い・絞り・均しの指導をする。	鍛金 銅製片手鍋の製作	【知識・技能】単純な形の成形をイメージとおりにできたか 【思考・判断・表現】材料と加工方法の適正を考え試行錯誤し、個性的な制作ができたか 【主体的に学習に取り組む態度】効率の良い制作手順を意識して、計画的に粘り強く丁寧に制作することができたか	○	○	○	12
	焼きなまし・酸洗い・絞り・均しの指導をする。	鍛金 銅製片手鍋の製作		○	○	○	12
3 学期	焼きなまし・酸洗い・絞り・均しの指導をする。	鍛金 銅製片手鍋の製作	【知識・技能】単純な形の成形をイメージとおりにできたか 【思考・判断・表現】材料と加工方法の適正を考え試行錯誤し、個性的な制作ができたか 【主体的に学習に取り組む態度】効率の良い制作手順を意識して、計画的に粘り強く丁寧に制作することができたか	○	○	○	10
	取手の焼きなまし・酸洗い・絞り・均しの指導をする。	鍛金 銅製片手鍋の製作		○	○	○	8
							合計
							78

年間授業計画

工芸 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科

アートクラフト 科目 AC研究

教科：アートクラフト

科目：AC研究

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組

教科担当者：（A 組： 氏家 ）

使用教科書：（ なし ）

教科 アートクラフト

の目標：

【知識及び技能】 金属工芸技法を理解し、実材実習での制作を通してさらに造形美を探究する

【思考力、判断力、表現力等】 各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につけ実践する

【学びに向かう力、人間性等】 素材を大切に扱う姿勢と個性的な造形力を養い、世に有意義な制作や活動ができる能力を身につける

科目 AC研究

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基本的なとんぼ玉の制作技法を習得する。	各種材料と加工方法の適正を考え、個性的な意匠を試行錯誤出来る力を身につける	粘り強く丁寧に制作することの大切さを理解する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	理型材、ガラス融解用具の扱い方を学ぶ	トンボ玉	【知識・技能】 基本的なとんぼ玉の制作技法を習得できたか 【思考・判断・表現】 材料と加工方法の適正を考え試行錯誤し、個性的な制作ができたか 【主体的に学習に取り組む態度】 効率の良い制作手順を意識して、計画的に粘り強く丁寧に制作することができたか	○	○	○	8
	基本的な玉の作り方を学ぶ	トンボ玉		○	○	○	10
	基本的な玉の作り方を学ぶ	トンボ玉		○	○	○	10
	基本的な玉の作り方を学ぶ	トンボ玉		○	○	○	8
2 学期	レース玉を作るなど技法の展開を図る	トンボ玉	【知識・技能】 基本的なとんぼ玉の制作技法を習得できたか 【思考・判断・表現】 材料と加工方法の適正を考え試行錯誤し、個性的な制作ができたか 【主体的に学習に取り組む態度】 効率の良い制作手順を意識して、計画的に粘り強く丁寧に制作することができたか	○	○	○	12
	レース玉を作るなど技法の展開を図る	トンボ玉		○	○	○	12
3 学期	動物などパーツが多く難易度の高い技法を習得する	トンボ玉	【知識・技能】 基本的なとんぼ玉の制作技法を習得できたか 【思考・判断・表現】 材料と加工方法の適正を考え試行錯誤し、個性的な制作ができたか 【主体的に学習に取り組む態度】 効率の良い制作手順を意識して、計画的に粘り強く丁寧に制作することができたか	○	○	○	10
	動物などパーツが多く難易度の高い技法を習得する	トンボ玉		○	○	○	8
							合計 78



年間授業計画

工芸 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科

アートクラフト 科目 AC II

教科：アートクラフト

科目：AC II

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組

教科担当者：（A 組：三宅）（A 組：垣内）

使用教科書：（なし）

教科 アートクラフト

の目標：

【知識及び技能】 金属工芸技法を理解し、実材実習での制作を通してさらに造形美を探究する

【思考力、判断力、表現力等】 各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につけ実践する

【学びに向かう力、人間性等】 素材を大切に扱う姿勢と個性的な造形力を養い、世に有意義な制作や活動ができる能力を身につける

科目 AC II

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
宝石の基礎知識を学ぶ	個性的な意匠を試行錯誤出来る力を身につける	粘り強く丁寧に制作することの大切さを理解する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	彩色表現	宝石の基礎知識	【知識・技能】 宝石の特色を理解できたか 【思考・判断・表現】 表現方法を模索し、丁寧な制作ができたか 【主体的に学習に取り組む態度】 グループ作業で個々の考えを構築できたか	○	○	○	8	
	ダイヤモンドの基礎知識	宝石の基礎知識		○	○	○	10	
	パール・ベリルの基礎知識	宝石の基礎知識		○	○	○	10	
	フェルドスパーの基礎知識	宝石の基礎知識		○	○	○	8	
2 学期	展開図を応用したパッケージ 宝石の基礎知識について調べる	宝石調べ学習	【知識・技能】 宝石の特色を理解できたか 【思考・判断・表現】 表現方法を模索し、丁寧な制作ができたか 【主体的に学習に取り組む態度】 グループ作業で個々の考えを構築できたか	○	○	○	12	
	平面から立体を想像し展開図へ 調べた内容を模造紙にまとめ、プレゼン	宝石調べ学習		○	○	○	12	
3 学期	展開図の製図・組み立て・着色 アンティークジュエリーについて調べる	アンティークジュエリー調べ学習	【知識・技能】 宝石の特色を理解できたか 【思考・判断・表現】 表現方法を模索し、丁寧な制作ができたか 【主体的に学習に取り組む態度】 グループ作業で個々の考えを構築できたか	○	○	○	10	
	展開図の製図・組み立て・着色。作品 の意味合いを探究する 調べた内容を模造紙にまとめ、プレゼン	アンティークジュエリー調べ学習		○	○	○	8	
							合計	78



年間授業計画

工芸 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科

アートクラフト 科目 AD

教科：アートクラフト

科目：AD

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組

教科担当者：（A 組：喜多崎）

使用教科書：（なし）

教科 アートクラフト

の目標：

【知識及び技能】 金属工芸技法を理解し、実材実習での制作を通してさらに造形美を探究する

【思考力、判断力、表現力等】 各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につけ実践する

【学びに向かう力、人間性等】 素材を大切に扱う姿勢と個性的な造形力を養い、世に有意義な制作や活動ができる能力を身につける

科目 AD

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
金属加工に適した構成や色彩の基礎理論を理解し、図案を制作出来る	各種材料と加工方法の適正を考え、個性的な意匠を試行錯誤出来る力を身につける	粘り強く丁寧に制作することの大切さを理解する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	唐草文様の意匠を作成させる	唐草文様の構成演習（図案・蓋制作）	【知識・技能】文様の装飾性を理解できたか 【思考・判断・表現】個性的な文様作成ができたか	○	○	○	8	
	唐草文様の意匠を作成させる	唐草文様の構成演習（図案・蓋制作）	【主体的に学習に取り組む態度】主題に即した図案のために何が必要かを考え、丁寧に工程を積み重ねることができる。計画的に課題制作を行うことができる。	○	○	○	10	
	唐草文様の意匠を作成させる	唐草文様の構成演習（図案・蓋制作）		○	○	○	10	
	唐草文様の意匠を作成させる	唐草文様の構成演習（図案・蓋制作）		○	○	○	8	
2 学期	コインデザインの意匠を作成させる	コインデザインの図案制作	【知識・技能】文様の装飾性を理解できたか 【思考・判断・表現】個性的な制作ができたか 【主体的に学習に取り組む態度】主題に即した図案のために何が必要かを考え、丁寧に工程を積み重ねることができる。計画的に課題制作を行うことができる。	○	○	○	12	
	コインデザインの意匠を作成させる	コインデザインの図案制作	○	○	○	12		
3 学期	色彩についての理解を深め、質感表現と平面上での立体表現を学ばせる。	立体構成	【知識・技能】文様の装飾性を理解できたか 【思考・判断・表現】個性的な制作ができたか 【主体的に学習に取り組む態度】主題に即した図案のために何が必要かを考え、丁寧に工程を積み重ねることができる。計画的に課題制作を行うことができる。	○	○	○	10	
	色彩についての理解を深め、質感表現と平面上での立体表現を学ばせる。	立体構成		○	○	○	8	
							合計	78

年間授業計画

工芸 高等学校 令和8年度 (3学年用) 教科

アートクラフト 科目 課題研究

教科：アートクラフト

科目：課題研究

単位数：5 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組

教科担当者：( A組：廣川 ) ( A組：宇高 ) ( A組：神山 ) ( A 組：氏家 )

使用教科書：( なし )

教科 アートクラフト

の目標：

【知識及び技能】 金属工芸技法を理解し、実材実習での制作を通してさらに造形美を探究する

【思考力、判断力、表現力等】 各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につけ実践する

【学びに向かう力、人間性等】 素材を大切に扱う姿勢と個性的な造形力を養い、世に有意義な制作や活動ができる能力を身につける

科目 課題研究

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
制作の為に資料収集と各素材の加工法を理解して、美しい作品を制作出来る。	モチーフらしい形体感を表現出来る。鉄の特性を生かした加工が出来る。七宝技法を理解し丁寧な加工ができる。図面を基に丁寧に制作できる。	貴重な素材での制作の意義と歴史的な名品の造形美を踏まえ、粘り強く丁寧に制作することの大切さを理解する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	「鋳造」鋳造に適した美しい造形を制作する 「彫金」無理のない彫金技法で制作する 「鍛金」効率の良い絞り加工や溶接で制作する 「ジュエリー」細密で丁寧に制作する	「鋳造」蠟型鋳造原型、仕上げ 「彫金」打出し、ロウ付け立体構成 「鍛金」銅板絞り加工、溶接作品制作 「ジュエリー」精密鋳造原型、仕上げ加工	【知識・技能】制作の為に資料収集と各素材の加工法を理解して、美しい作品を制作出来たか。 【思考・判断・表現】各素材の特性を生かした加工が出来たか。 【主体的に学習に取り組む態度】無駄のない材料の活用を考え粘り強く丁寧に制作することが出来たか。	○	○	○	24
				○	○	○	24
				○	○	○	24
2 学 期	「鋳造」鋳造に適した美しい造形を制作する 「彫金」無理のない彫金技法で制作する 「鍛金」効率の良い絞り加工や溶接で制作する 「ジュエリー」細密で丁寧に制作する	「鋳造」蠟型鋳造原型、仕上げ 「彫金」打出し、ロウ付け立体構成 「鍛金」銅板絞り加工、溶接作品制作 「ジュエリー」精密鋳造原型、仕上げ加工	【知識・技能】制作の為に資料収集と各素材の加工法を理解して、美しい作品を制作出来たか。 【思考・判断・表現】各素材の特性を生かした加工が出来たか。 【主体的に学習に取り組む態度】無駄のない材料の活用を考え粘り強く丁寧に制作することが出来たか。	○	○	○	24
				○	○	○	24
				○	○	○	24
3 学 期	「鋳造」鋳造に適した美しい造形を制作する 「彫金」無理のない彫金技法で制作する 「鍛金」効率の良い絞り加工や溶接で制作する 「ジュエリー」細密で丁寧に制作する	「鋳造」蠟型鋳造原型、仕上げ 「彫金」打出し、ロウ付け立体構成 「鍛金」銅板絞り加工、溶接作品制作 「ジュエリー」精密鋳造原型、仕上げ加工	【知識・技能】制作の為に資料収集と各素材の加工法を理解して、美しい作品を制作出来たか。 【思考・判断・表現】各素材の特性を生かした加工が出来たか。 【主体的に学習に取り組む態度】無駄のない材料の活用を考え粘り強く丁寧に制作することが出来たか。	○	○	○	24
				○	○	○	24
				○	○	○	3 合計 195

年間授業計画

工芸 高等学校 令和8年度 (3学年用) 教科

アートクラフト 科目 実習A

教科: アートクラフト

科目: 実習A

単位数: 5 単位

対象学年組: 第 3 学年 A 組

教科担当者: ( A組: 大野 ) ( A組: 垣内 ) ( A組: 吉田 ) ( A 組: 三宅 )

使用教科書: ( なし )

教科 アートクラフト

の目標:

【知識及び技能】 金属工芸技法を理解し、実材実習での制作を通してさらに造形美を探究する

【思考力、判断力、表現力等】 各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につけ実践する

【学びに向かう力、人間性等】 素材を大切に扱う姿勢と個性的な造形力を養い、世に有意義な制作や活動ができる能力を身につける

科目 実習A

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
制作の為の資料収集と各素材の加工法を理解して、美しい作品を制作出来る。	モチーフらしい形体感を表現出来る。鉄の特性を生かした加工が出来る。七宝技法を理解し丁寧な加工ができる。図面を基に丁寧に制作できる。	貴重な素材での制作の意義と歴史的名品の造形美を踏まえ、粘り強く丁寧に制作することの大切さを理解する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	「デッサン」芸大、美大合格水準のデッサン力を身につける。 「鍛鉄」鉄の素材を生かした加工法を身につける 「七宝」有線七宝の基本技術の修得が成され、鑑賞に耐える高度な作品制作をする。 「テープカッター」デザインに応じた適切な方法で完成させる。	「デッサン」石膏・静物鉛筆デッサン 「鍛鉄」椅子、机、窓装飾等の実用品の制作 「七宝」有線七宝装飾板の制作 「テープカッター」2年次設計のテープカッター製作	【知識・技能】制作の為の資料収集と各素材の加工法を理解して、美しい作品を制作出来たか。 【思考・判断・表現】モチーフらしい形体感を表現出来たか。鉄の特性を生かした加工が出来たか。七宝技法を理解し丁寧な加工が出来たか。図面を基に丁寧に制作出来たか。 【主体的に学習に取り組む態度】無駄のない材料の活用を考え粘り強く丁寧に制作することが出来たか。	○	○	○	24
				○	○	○	24
				○	○	○	24
2 学 期	「デッサン」芸大、美大合格水準のデッサン力を身につける。 「鍛鉄」鉄の素材を生かした加工法を身につける 「七宝」有線七宝の基本技術の修得が成され、鑑賞に耐える高度な作品制作をする。 「テープカッター」デザインに応じた適切な方法で完成させる。	「デッサン」石膏・静物鉛筆デッサン 「鍛鉄」椅子、机、窓装飾等の実用品の制作 「七宝」有線七宝装飾板の制作 「テープカッター」2年次設計のテープカッター製作	【知識・技能】制作の為の資料収集と各素材の加工法を理解して、美しい作品を制作出来たか。 【思考・判断・表現】モチーフらしい形体感を表現出来たか。鉄の特性を生かした加工が出来たか。七宝技法を理解し丁寧な加工が出来たか。図面を基に丁寧に制作出来たか。 【主体的に学習に取り組む態度】無駄のない材料の活用を考え粘り強く丁寧に制作することが出来たか。	○	○	○	24
				○	○	○	24
				○	○	○	24
3 学 期	「デッサン」芸大、美大合格水準のデッサン力を身につける。 「鍛鉄」鉄の素材を生かした加工法を身につける 「七宝」有線七宝の基本技術の修得が成され、鑑賞に耐える高度な作品制作をする。 「テープカッター」デザインに応じた適切な方法で完成させる。	「デッサン」石膏・静物鉛筆デッサン 「鍛鉄」椅子、机、窓装飾等の実用品の制作 「七宝」有線七宝装飾板の制作 「テープカッター」2年次設計のテープカッター製作	【知識・技能】制作の為の資料収集と各素材の加工法を理解して、美しい作品を制作出来たか。 【思考・判断・表現】モチーフらしい形体感を表現出来たか。鉄の特性を生かした加工が出来たか。七宝技法を理解し丁寧な加工が出来たか。図面を基に丁寧に制作出来たか。 【主体的に学習に取り組む態度】無駄のない材料の活用を考え粘り強く丁寧に制作することが出来たか。	○	○	○	24
				○	○	○	24
				○	○	○	3 合計
							195



年間授業計画

工芸 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科

アートクラフト 科目 デッサンⅡ

教科：アートクラフト

科目：デッサンⅡ

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組

教科担当者：（A組：大野）

使用教科書：（なし）

教科 アートクラフト

の目標：

【知識及び技能】 金属工芸技法を理解し、実材実習での制作を通してさらに造形美を探究する

【思考力、判断力、表現力等】 各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につけ実践する

【学びに向かう力、人間性等】 素材を大切に扱う姿勢と個性的な造形力を養い、世に有意義な制作や活動ができる能力を身につける

科目 デッサンⅡ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
画材の扱いに慣れ、人体や物の構造を意識する	短時間でモチーフの印象を踏まえて立体表現が出来る	形に添った表現を丁寧に積み重ねて対象物を理解する

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	木炭デッサンの描き方を理解し対象物を立体表現する 石膏像（胸像）	木炭紙と木炭の芯抜きの基本 立体表現の為の稜線の描き方	【知識・技能】 画材の扱いに慣れ、人体や物の構造を意識する  【思考・判断・表現】 短時間でモチーフの印象を踏まえて立体表現が出来る  【主体的に学習に取り組む態度】 形に添った表現を丁寧に積み重ねて対象物を理解する	○	○	○	12
	石膏像（胸像）	立体表現の為の稜線の描き方		○	○	○	12
2 学期	石膏像（胸像）	立体表現の為の稜線の描き方	【知識・技能】 画材の扱いに慣れ、人体や物の構造を意識する  【思考・判断・表現】 短時間でモチーフの印象を踏まえて立体表現が出来る  【主体的に学習に取り組む態度】 形に添った表現を丁寧に積み重ねて対象物を理解する	○	○	○	14
	ベルヴェデーレ、ミロのヴィーナス （石膏全身像）	立体表現の為の稜線の描き方		○	○	○	16
3 学期	ベルヴェデーレ、ミロのヴィーナス （石膏全身像）	立体表現の為の稜線の描き方	【知識・技能】 画材の扱いに慣れ、人体や物の構造を意識する  【思考・判断・表現】 短時間でモチーフの印象を踏まえて立体表現が出来る  【主体的に学習に取り組む態度】 形に添った表現を丁寧に積み重ねて対象物を理解する	○	○	○	12
	ベルヴェデーレ、ミロのヴィーナス （石膏全身像）	立体表現の為の稜線の描き方		○	○	○	12
							合計
							78